

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2026 年 第 36 週（8 月 31 日～9 月 6 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症		報告なし	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3 人	類型 患者 1 人、 無症状病原体保有者 2 人
			血清型 O157 2 人、O103 1 人
四類感染症	E 型肝炎	1 人	推定感染地域 国内
	A 型肝炎	2 人	推定感染地域 国内 2 人
	レジオネラ症	1 人	病型 肺炎型
五類感染症	アメーバ赤痢	1 人	病型 腸管アメーバ症
	急性脳炎	2 人	病原体 インフルエンザウイルス A 型 1 人、 単純ヘルペスウイルス 1 型 1 人
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人	血清群 B 群
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人	
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人	
	梅毒	7 人	病型 早期顕症Ⅰ期 4 人、早期顕症Ⅱ期 1 人、 晩期顕症梅毒 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
	百日咳	8 人	年齢階級 1-4 歳 2 人、10 歳代 3 人、 20 歳代 1 人、30 歳代 2 人

＜定点把握疾患の患者情報＞

インフルエンザ（2.58→4.57：図 1）の定点当たり報告数は、第 31 週以降増加傾向にある。保健所別では、県内全 17 保健所中、16 保健所管内で前週の値を上回り、南部（0.50→5.60）保健所管内で特に大きく増加した。年齢階級別では、9 歳以下の報告が全体の約 50%であった。基幹定点におけるインフルエンザ（入院）の報告数は 8 人（前週 10 人）であった。新型コロナウイルス感染症（2.13→3.02：図 2）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。年齢階級別では、9 歳以下の報告が全体の約 51%であった。基幹定点における新型コロナウイルス感染症（入院）の報告は 10 人（前週 7 人）であった。RS ウイルス感染症（1.13→1.41：図 3）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、鴻巣（0.71→3.00）保健所管内で大きく増加した。急性呼吸器感染症（59.43→73.95：図 4）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 1 人、流行性角結膜炎 20 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、細菌性髄膜炎 2 人、マイコプラズマ肺炎 12 人（前週 19 人）の報告があった。

○全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構（JHS）感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info.jhs.go.jp/>）で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

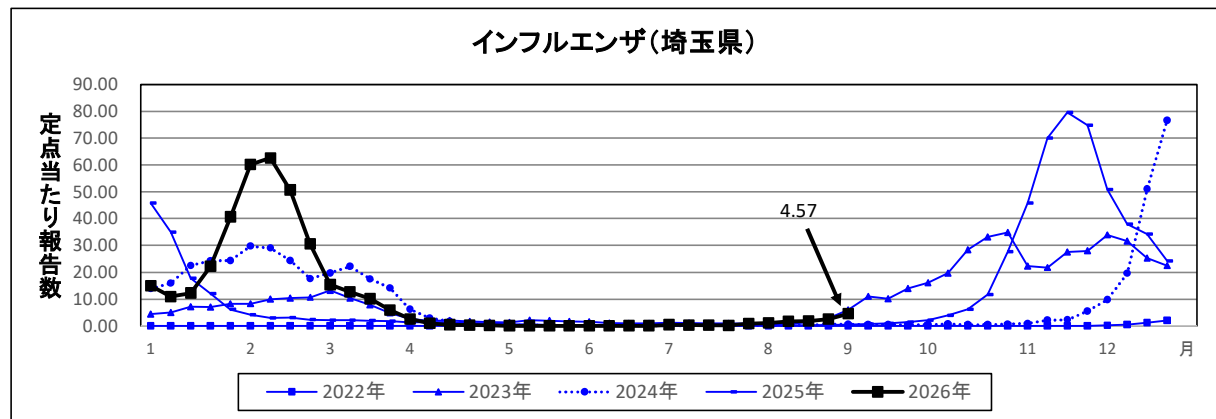


図2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

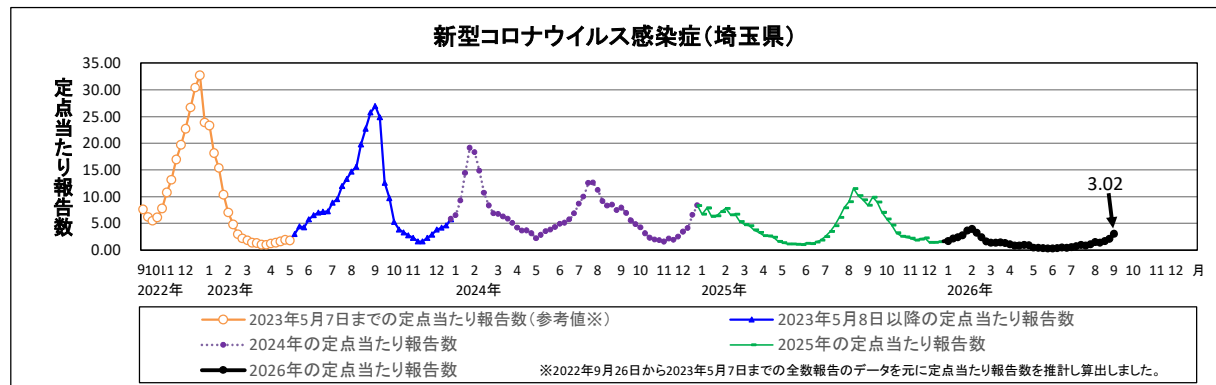


図3 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

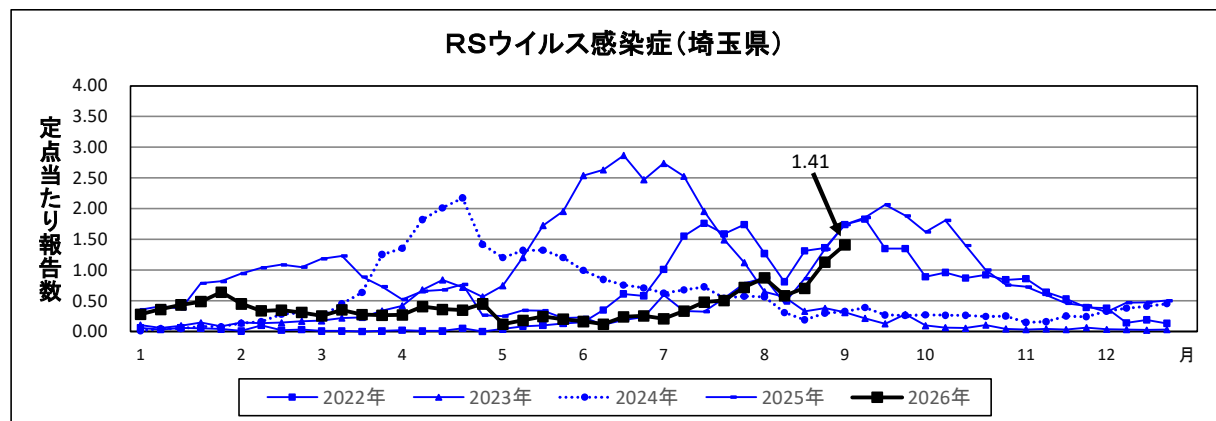
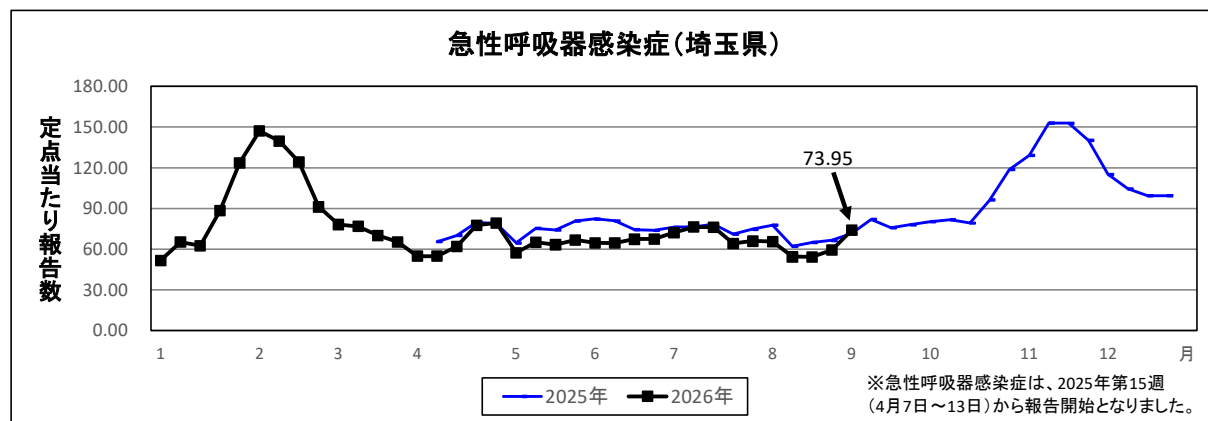


図4 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



急性呼吸器感染症における病原体検出状況は以下のページに掲載しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html>

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第36週)

(2026年9月8日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核 * 1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		3
細菌性赤痢		2	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	3	127			
四類感染症					
E型肝炎	1	52	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	2	14	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
エムボックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	107
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		1	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	20	水痘(入院例に限る)		17
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		13	先天性風しん症候群		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		29	多剤耐性緑膿菌感染症		2
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	7	339
急性脳炎	2	43	播種性クリプトコックス症		4
クリプトスポリジウム症			破傷風		5
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	43	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群		28	百日咳	8	333
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	29	麻しん		40
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター 感染症		1
侵襲性肺炎球菌感染症	1	77			

累計は診断週で集計

* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)				報告患者数				保健所別				(2026年第36週				8月31日～9月6日)									
保健所		インフル エンザ #1	新型コロナ ウイルス 感染症	急性呼吸器 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症		
																							（入院）	（入院）	
全 県	報告数	799	529	12,941	154	30	154	513	30	185	5	48	86	5	1	20	2	-	12	-	-	-	8	10	
	定点当たり	4.57	3.02	73.95	1.41	0.28	1.41	4.71	0.28	1.70	0.05	0.44	0.79	0.05	0.02	0.47	0.17	-	1.00	-	-	-	0.67	0.83	
朝 霞	報告数	84	83	1,138	7	7	12	46	3	16	-	5	4	1	-	5	1	-	1	-	-	-	3	1	
	定点当たり	5.25	5.19	71.13	0.70	0.70	1.20	4.60	0.30	1.60	-	0.50	0.40	0.10	-	1.00	1.00	-	1.00	-	-	-	3.00	1.00	
鴻 巣	報告数	81	47	2,323	21	2	39	44	4	3	-	6	6	-	-	2	*	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	6.75	3.92	193.58	3.00	0.29	5.57	6.29	0.57	0.43	-	0.86	0.86	-	-	0.67	*	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数	21	3	323	2	-	2	36	2	4	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり	5.25	0.75	80.75	0.67	-	0.67	12.00	0.67	1.33	-	0.33	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秩 父	報告数	5	19	70	1	1	-	-	-	14	-	-	1	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり	1.25	4.75	17.50	0.33	0.33	-	-	-	4.67	-	-	0.33	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	
本 庄	報告数	10	8	57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	定点当たり	3.33	2.67	19.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
熊 谷	報告数	52	41	647	11	2	14	19	-	9	-	3	13	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり	5.78	4.56	71.89	2.20	0.40	2.80	3.80	-	1.80	-	0.60	2.60	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	
加 須	報告数	18	16	108	3	2	2	-	-	10	1	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
	定点当たり	3.60	3.20	21.60	1.00	0.67	0.67	-	-	3.33	0.33	0.33	-	0.33	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	1.00	
春 日 部	報告数	42	25	773	5	3	13	13	3	17	-	-	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	7.00	4.17	128.83	1.67	1.00	4.33	4.33	1.00	5.67	-	-	0.67	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数	25	39	965	25	-	14	20	-	30	1	2	4	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	2.78	4.33	107.22	5.00	-	2.80	4.00	-	6.00	0.20	0.40	0.80	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数	16	12	314	-	-	2	34	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	
	定点当たり	4.00	3.00	78.50	-	-	0.67	11.33	-	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	4.00	-	-	-	-	1.00	
草 加	報告数	69	31	559	10	1	5	29	-	5	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	6.27	2.82	50.82	1.43	0.14	0.71	4.14	-	0.71	-	0.29	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数	56	46	706	15	2	11	34	3	13	2	7	4	-	-	1	-	-	4	-	-	1	2		
	定点当たり	4.31	3.54	54.31	1.50	0.20	1.10	3.40	0.30	1.30	0.20	0.70	0.40	-	-	0.20	-	-	4.00	-	-	1.00	2.00		
南 部	報告数	28	24	470	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	
	定点当たり	5.60	4.80	94.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	1.00	-	-	-	-	1.00	
川 越 市	報告数	20	7	637	5	2	7	12	1	12	-	4	5	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	2.22	0.78	70.78	1.00	0.40	1.40	2.40	0.20	2.40	-	0.80	1.00	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数	28	10	494	4	-	-	26	1	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	定点当たり	3.50	1.25	61.75	0.80	-	-	5.20	0.20	1.00	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
川 口 市	報告数	76	45	890	12	1	8	88	5	13	1	6	25	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	定点当たり	5.43	3.21	63.57	1.50	0.13	1.00	11.00	0.63	1.63	0.13	0.75	3.13	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
さいたま市	報告数	168	73	2,467	31	7	25	112	8	32	-	10	20	1	-	7	-	-	1	-	-	4	1		
	定点当たり	3.91	1.70	57.37	1.11	0.25	0.89	4.00	0.29	1.14	-	0.36	0.71	0.04	-	0.78	-	-	1.00	-	-	4.00	1.00		

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

9月 8日 13:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)				報 告 患 者 数			年 齢 別			(2026年第36週				8月31日～9月6日)								
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	799	3	11	26	35	49	45	58	56	41	36	41	103	52	47	47	51	40	35	11	12	
新型コロナウイルス感染症	529	2	21	42	30	33	34	31	23	20	20	16	51	17	36	47	34	33	14	19	6	
	合計	0歳		1-4				5-9					10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
急性呼吸器感染症	12,941	865		5,166				2,786					1,052	479	504	563	442	402	281	215	186	
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	154	16	29	61	31	15	1	-	-	-	1	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	30	-	3	8	7	7	-	1	1	1	-	-	1	1	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	154	-	-	4	6	17	21	17	16	15	13	12	11	4	18							
感染性胃腸炎	513	4	45	75	56	33	27	46	38	32	24	27	72	11	23							
水痘	30	-	-	-	-	2	1	5	6	3	1	3	8	-	1							
手足口病	185	4	14	85	43	12	7	7	1	3	3	2	3	-	1							
伝染性紅斑	5	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-							
突発性発しん	48	-	9	31	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	86	-	7	24	15	7	8	16	4	3	-	-	2	-	-							
流行性耳下腺炎	5	-	-	-	-	1	-	-	-	2	2	-	-	-	-							
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
流行性角結膜炎	20	-	-	-	-	-	-	1	3	1	1	-	1	1	4	3	1	1	1	2		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	12	-	4	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	8	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6				
新型コロナウイルス感染症(入院)	10	1	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4				

※ 表中の数値は各定点からの報告数（-：0）

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第34週 (8月17日～8月23日)

令和8年9月9日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,679): インフルエンザの定点当たり報告数は第26週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(4.43)、岩手県(2.10)、青森県(2.08)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は167例と前週と比較して増加した。都道府県別では40都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(4例)、1～9歳(35例)、10代(7例)、20代(3例)、30代(4例)、40代(4例)、50代(9例)、60代(17例)、70代(34例)、80歳以上(50例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(3.50)、和歌山県(2.89)、栃木県(2.36)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は316例と前週と比較して増加した。都道府県別では44都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(16例)、1～9歳(69例)、10代(4例)、20代(2例)、30代(8例)、40代(5例)、50代(12例)、60代(17例)、70代(72例)、80歳以上(111例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,668)の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(55.91)、埼玉県(54.18)、栃木県(54.04)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,214): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県(1.80)、佐賀県(1.67)、沖縄県(1.63)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は奈良県(0.92)、島根県(0.91)、徳島県(0.86)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(4.10)、鳥取県(2.74)、島根県(2.55)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は石川県(6.71)、福井県(6.40)、大分県(5.78)である。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(1.64)、長崎県(0.77)、新潟県(0.63)である。手足口病の定点当たり報告数は第30週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は岩手県(7.48)、北海道(6.48)、宮城県(6.13)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(0.21)、愛媛県(0.20)、徳島県(0.19)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(1.62)、北海道(1.44)、宮城県(1.35)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は群馬県(0.13)、三重県(0.10)、兵庫県(0.10)、福岡県(0.10)である。

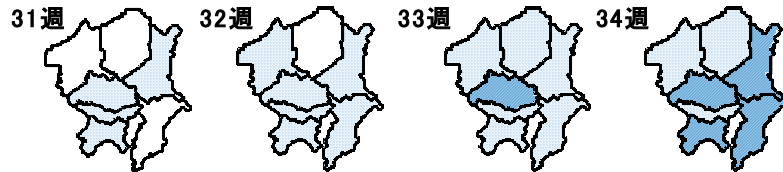
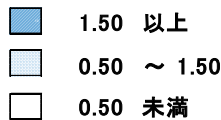
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は群馬県(1.78)、埼玉県(1.67)、愛知県(1.40)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。5都道府県から6例報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～4歳(1例)、5～9歳(1例)、10代(3例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年 第34週(8月17日～8月23日): 通巻第28巻 第34号より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、神奈川県(1.99)、埼玉県(1.83)、千葉県(1.80)、茨城県(1.76)からの報告が多い。

インフルエンザ



2026年 34週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 4,094 定点当たり 1.11	1,889 1.68	120 1.76	63 1.34	31 0.72	307 1.83	323 1.80	574 1.49	471 1.99
新型コロナウイルス感染症	報告数 4,353 定点当たり 1.18	1,285 1.14	136 2.00	111 2.36	47 1.09	281 1.67	214 1.20	295 0.77	201 0.85
急性呼吸器感染症	報告数 133,148 定点当たり 36.30	47,427 42.27	3,241 47.66	2,540 54.04	2,404 55.91	9,103 54.18	6,965 38.91	13,340 34.74	9,834 42.21
RSウイルス感染症	報告数 1,090 定点当たり 0.49	350 0.51	6 0.16	14 0.52	9 0.38	74 0.70	49 0.46	145 0.60	53 0.38
咽頭結膜熱	報告数 573 定点当たり 0.26	125 0.18	13 0.34	4 0.15	13 0.54	26 0.25	18 0.17	37 0.15	14 0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 2,420 定点当たり 1.09	723 1.06	86 2.26	53 1.96	37 1.54	148 1.41	97 0.91	181 0.75	121 0.87
感染性胃腸炎	報告数 7,284 定点当たり 3.29	2,183 3.21	106 2.79	49 1.81	121 5.04	341 3.25	243 2.27	887 3.68	436 3.14
水痘	報告数 589 定点当たり 0.27	169 0.25	14 0.37	6 0.22	8 0.33	38 0.36	19 0.18	50 0.21	34 0.24
手足口病	報告数 4,523 定点当たり 2.04	1,398 2.05	88 2.32	132 4.89	73 3.04	222 2.11	177 1.65	362 1.50	344 2.47
伝染性紅斑	報告数 90 定点当たり 0.04	18 0.03	— —	1 0.04	5 0.21	7 0.07	1 0.01	3 0.01	1 0.01
突発性発しん	報告数 646 定点当たり 0.29	189 0.28	9 0.24	9 0.33	10 0.42	34 0.32	20 0.19	77 0.32	30 0.22
ヘルパンギーナ	報告数 1,481 定点当たり 0.67	512 0.75	31 0.82	26 0.96	26 1.08	83 0.79	28 0.26	168 0.70	150 1.08
流行性耳下腺炎	報告数 91 定点当たり 0.04	38 0.06	1 0.03	1 0.04	3 0.13	7 0.07	7 0.07	12 0.05	7 0.05
急性出血性結膜炎	報告数 7 定点当たり 0.01	4 0.02	— —	— —	— —	1 0.02	2 0.06	1 0.03	— —
流行性角結膜炎	報告数 573 定点当たり 0.84	141 0.71	26 1.53	14 1.17	2 0.20	16 0.38	22 0.67	14 0.39	47 0.98
細菌性髄膜炎 #2	報告数 5 定点当たり 0.01	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
無菌性髄膜炎	報告数 26 定点当たり 0.05	7 0.08	— —	— —	— —	3 0.25	1 0.11	1 0.04	2 0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数 211 定点当たり 0.44	69 0.79	11 0.85	2 0.29	16 1.78	20 1.67	5 0.56	10 0.40	5 0.42
クラミジア肺炎 #3	報告数 9 定点当たり 0.02	1 0.01	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 0.08
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数 6 定点当たり 0.01	1 0.01	— —	— —	— —	— —	1 0.11	— —	— —

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(—0.00)

埼玉県病原微生物検出情報（月報）2026 年 8 月号

2026 年 9 月 9 日発行

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

急性呼吸器感染症の検体は、8 月に 531 検体採取されました。

検査が終了した 346 検体において、ライノ／エンテロウイルスが 61 件（17.6%）と最も多く検出され、次いで新型コロナウイルスが 38 件（11.0%）でした。また、インフルエンザウイルスは 30 件検出され、7 月の 21 件から増加しました。なお、8 月に検出されたインフルエンザウイルスは全て AH1pdm09 亜型でした。

急性呼吸器感染症については、最新の検出状況を以下のページに記載しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html>

腸管出血性大腸菌感染症は、O157:H7（VT2）の検出が 6 月 8 件、7 月 5 件、8 月 4 件と多い傾向にあり、全国的にも広範囲で検出が認められています。

細菌検出状況

三類感染症

2026年8月31日現在

臨床診断名	病原体名	採取月	6 月	7 月	8 月	備考(8月分)
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌 (<i>Escherichia coli</i>) 合計		23	17	7	
	O157:H7 (VT2)		8	5	4	
	O157:H7 (VT1&2)		1	1	2	
	O157:H- (VT1&2)		1	2		
	O26:H11 (VT1)		5	3		
	O55:HUT (VT1)			1		
	O103:H2 (VT1)		1			
	O111:H- (VT1)			1	1	
	O168:H7 (VT2)		3			
	OUT:H7 (VT2)		1	1		
	OUT:H18 (VT2)			1		
	OUT:H19 (VT2)		1	1		
	OUT:H21 (VT1)		1			
	OUT:H- (VT1&2)		1			
	OUT:HUT (VT2)			1		
腸チフス	<i>Salmonella</i> Typhi		1			
パラチフス	<i>Salmonella</i> Paratyphi A				1(1)	推定感染地域:バングラデシュ

コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフスに関しては、()内に海外感染例を掲載

四類感染症		2026年8月31日現在			
臨床診断名	採取月 病原体名	6月	7月	8月	備考(8月分)
レジオネラ症	<i>Legionella pneumophila</i> SG1	4	3	1	
	<i>Legionella pneumophila</i> SG5		1		
	<i>Legionella</i> spp.(LAMP陽性)		1		

五類感染症(全数把握)		2026年8月31日現在			
臨床診断名	採取月 病原体名	6月	7月	8月	備考(8月分)
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		2		
	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	1	1		
	<i>Serratia marcescens</i>	1			
	<i>Morganella morganii</i>	1			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	<i>Streptococcus pyogenes</i> (血清群A群)	4		3	
	<i>Streptococcus agalactiae</i> (血清群B群)	1	1		
	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	1	1		
播種性クリプトコックス症	<i>Cryptococcus neoformans</i>		1		

五類感染症(定点把握)(急性呼吸器感染症を除く)						2026年8月31日現在
臨床診断名	採取月	6月	7月	8月	備考(8月分)	
	病原体名					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes</i>	1				

ウイルス検出状況

二類感染症及び指定感染症		2026年9月2日 現在(累計：2026年1月～)					
臨床診断名	ウイルス	採取月 検体合計数	6月	7月	8月	累計	その他のウイルス
中東呼吸器症候群	検体数					1	
	MERSコロナ					1	

四類感染症		2026年9月2日 現在(累計：2026年1月～)					
臨床診断名	ウイルス	採取月 検体合計数	6月	7月	8月	累計	その他のウイルス
E型肝炎	検体数		5	11	2	53	
	E型肝炎		4	7	1	35	
	検査中		3	5		23	
A型肝炎	検体数			1	1	2	
	A型肝炎		1	3	1	10	
	検査中			3	1	4	
チクングニア熱	検体数					3	
	チクングニア						
デング熱	検体数			1		5	
	デング			1		1	

五類感染症（全数把握）		2026年9月2日 現在(累計：2026年1月～)					
臨床診断名	ウイルス	採取月 検体合計数	6月	7月	8月	累計	その他のウイルス
急性弛緩性麻痺	検体数		128	72	36	1035	
	エンテロ D68					6	
急性脳炎 (四類以外)	検体数	3	9	3	44		
	コクサッキー A6		1		1		
	ヒトヘルペス 6		1	1	9		
	ヒトヘルペス 7		1		1		
	アデノ nt				1		
風しん	検体数			7	16		
	風しん						
麻しん	検体数	125	63	26	969	麻しん(ワクチン株)(2)，コクサッキー A6(1)	
	麻しん				93		

五類感染症（定点把握）（急性呼吸器感染症を除く）

五類感染症（定点把握）（急性呼吸器感染症を除く）		2026年9月2日 現在(累計：2026年1月～)									
臨床診断名	採取月 検体合計数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	累計	その他のウイルス
		10	15	13	13	26	22	31	20	150	
RSウイルス 感染症	検体数		10	4		2	2	1	2	21	
	RS A		7	4			1	1		13	
	RS B		3			2	1			6	
	検査中							2		2	
咽頭結膜熱	検体数					1				1	
	アデノ 2					1				1	
感染性胃腸炎	検体数	2	3	4	7	3	3	1	4	27	ライノ (1)
	ノロ	1	3	1	2				1	8	
	サボ		1							1	
	アストロ			1	1	1				3	
	ロタ (A)				2					2	
	アデノ 41				1					1	
	検査中						1	1	2	4	
水痘	検体数			2	1					3	
	水痘帯状疱疹しん			2						2	
手足口病	検体数				2	4	10	18	4	38	パレコ(1), ライノ(2), アデノ 2(1), EB(1), サイトメガロ(3), ヒトヘルペス 6(1), パラインフルエンザ 3(2), ヒトボカ(1)
	コクサッキー A6					2	8	12	2	24	
	コクサッキー A16				1					1	
	検査中						1	5	1	7	
突発性発しん	検体数	2			1	2	1			6	ライノ (1)
	ヒトヘルペス 6					1				1	
	ヒトヘルペス 7	1								1	
ヘルパンギーナ	検体数	1						2		3	単純ヘルペス 1(1), ヒトヘルペス 6(1), ヒトヘルペス 7(1)
	コクサッキー A6										
	検査中							2		2	
流行性耳下腺炎	検体数	1				3	2	1	3	10	EB(2), ライノ(2), ヒトヘルペス 7(3)
	ムンプス										
	検査中								1	1	
流行性 角結膜炎	検体数								2	2	
	検査中								2	2	
無菌性髄膜炎	検体数	4	2	3	2	11	4	8	5	39	
	コクサッキー A6					2		1	1	4	
	エンテロ nt							1		1	
	単純ヘルペス 2	1								1	
	水痘帯状疱疹しん							1		1	
	サイトメガロ			1						1	
	パラインフルエンザ 1	2								2	
	検査中							4	4	8	

急性呼吸器感染症

		2026年9月2日 現在(累計：2026年1月～)									
臨床診断名	採取月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	累計	
急性呼吸器感染症	検体数	911	919	887	742	623	776	815	531	6204	
	インフルエンザ AH1pdm09	1	2	2		2		16	30	53	
	インフルエンザ AH3	118	25	10	1			5		159	
	インフルエンザ B(ビクトリア)	194	411	182	20	3	1			811	
	インフルエンザ B	1	1							2	
	新型コロナ	74	58	48	30	15	25	56	38	344	
	RS A	21	13	17	9	1	6	16	13	96	
	RS B	25	18	18	17	6	12	18	15	129	
	ヒトメタニューモ	12	18	72	84	43	61	89	30	409	
	パラインフルエンザ 1	1	7	12	19	22	57	60	12	190	
	パラインフルエンザ 2	1			1		1		1	4	
	パラインフルエンザ 3			3	14	31	64	83	21	216	
	パラインフルエンザ 4		1			1	2	5		9	
	ライノ/エンテロ	81	75	112	193	209	209	169	61	1109	
	アデノ	14	10	23	11	24	36	29	8	155	
	ヒトコロナ HKU1	20	24	26	7	3				80	
	ヒトコロナ OC43	40	78	116	71	20	6	2	2	335	
	ヒトコロナ 229E	5	17	17	20	3	1	3		66	
	ヒトコロナ NL63	40	16	10	1	1				68	
	ヒトパレコ					1	1	3	5	10	
	ヒトボカ	3	2	3	9	20	58	49	11	155	
	肺炎マイコプラズマ	4	1	4	5	5	7	9	5	40	
	単純ヘルペス1					1		1		2	
	単純ヘルペス2	1								1	
	水痘帯状疱疹しん					1				1	
	EB			1						1	
	サイトメガロ		1							1	
	ヒトヘルペス 6		2				1	1		5	
	ヒトヘルペス 7	2	1	1			2		2	8	
	検査中								31	185	216

感染症発生動向調査 2026年

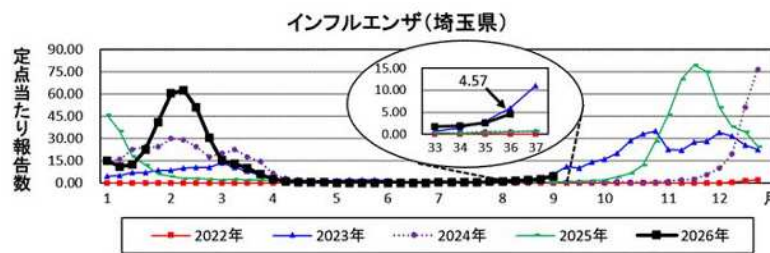
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第23週](#)

感染症の流行状況 2026年 第36週

2026年第36週（8月31日～9月6日）の要点

定点把握対象疾患（[インフルエンザ](#)）

定点当たり報告数は、第31週以降、増加傾向にあります。



感染予防のため、[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	↓	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
急性呼吸器感染症	↑	—	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	↑	★★	ヘルパンギーナ	→	★★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	↑	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が増えとなりました。疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。



埼玉県のマスコット コバトン